

平成26年1月30日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社大阪チタニウムテクノロジーズに「SMB C環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ（代表取締役社長：西澤 庄藏）に対し、「SMB C環境配慮評価融資」を実施致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：藤井 順輔）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった、株式会社大阪チタニウムテクノロジーズに対する環境配慮状況の評価結果は、「環境ビジネス」「環境マネジメントシステム」「環境負荷の把握の状況」などの面で高い水準であると判断され、企業経営において優れた環境配慮を実施されているとの評価となりました。

特に、①環境ビジネスでは、チタンやポリシリコンなどの製品提供を通じて、航空機の燃費向上、電子機器のエネルギー効率の向上に貢献されている点や、高機能材料としてリチウムイオン電池向け負極材を提供されるなど、新規分野にも積極的に取り組まれている点、②ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを導入し、エネルギーの有効活用や廃棄物の減量化、リサイクルの推進を柱として環境保全活動を推進しておられる点、③事業全体を通して環境負荷の把握を推進するとともに、環境負荷の増減要因を精緻に分析しておられる点等が高く評価されました。

なお、株式会社大阪チタニウムテクノロジーズに対する「SMB C環境配慮評価融資」の実施は2回目となり、前回の評価結果を受け、更なる改善や新たな環境取組を推進されております。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。

以 上

このニュースリリースは、投資勧誘を推奨することを目的としたものではありません。